

平成27年度

# 上那賀中学校 「学力向上実行プラン」

## 研究テーマ

- ①「意欲的に学習に取り組み、「基礎的・基本的な知識・技能」を定着させ、それらを活用する力を身につける指導の充実」
- ②「学校から家庭へ協力を求め家庭学習習慣の確立をめざす」

### (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況		具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標
よ さ	漢字の読み書きや数学の基本的な計算力についてはある程度定着がみられる。	①家庭学習の時間を確保し、宿題や自主学習ノート、セミナーなどを毎日提出できる。 ②基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。	関心・意欲・態度に関する評価が「B」以上の生徒が8割を超える。
課 題	学力については個人差が大きく、一部の生徒では学習意欲と関連して基礎・基本の定着が不十分である。	①学習者に対して本時の活動目標を明確にする。 ②漢字テスト、計算テスト、英単語テストなどの小テストを継続的にこなす。 ③本時のまとめをする。	①本時の活動目標を板書する。 ②一週間に一回程度、小テストをする。 ③口頭で本時の授業内容を振り返る。
		具体的方策(教員の取組)	取組指標

### (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標
よ さ	「基礎的・基本的」な事項についての発問に関しては、積極的に発表し、まじめに授業に取り組むことができる。	授業の中で考えさせる場、表現させる場を設定し、筋道を立て論理的に自分の考えや意見を積極的に発言できる。	表現力に関する評価が各学期ごとに「B」以上の生徒が8割を超える。
課 題	課題に対し「基礎的・基本的」な事項を用いて、言葉や文章で表現したり説明したりすることに課題がある。	①「思考力・判断力」を高める授業を意図的に展開する。 ②研修によりお互いの手立てを交換する。	①考える場面、表現する場面を取り入れた授業を展開する。 ②全ての教科で公開授業をする。
		具体的方策(教員の取組)	取組指標

### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標
よ さ	大きな挨拶で始まり、挙手発表も積極的に行おうとしている。登校後の朝の読書タイムも定着してきている。授業では与えられた課題についてはまじめに取り組むことができる。	①家庭学習の定着を図り、自主的に課題を見つけ、取り組むことができる。 ②意欲的に読書をし、新聞を読むことができる。	①自主学習ノートを全員提出できる。 ②家庭で読書をしたり新聞を読んだりする生徒が5割を超える。
課 題	与えられた課題に対しては、おおむね取り組んでいるが、自ら課題を見つけ、解決する取り組みは十分ではない。	①学期ごとに「家庭学習の手引き」をもとに学習を振り返り、自ら具体的な課題や時間を設定し目標を持たせて取り組ませる。 ②一か月のうち一週間、朝のセミナー学習を中止し「読書週間」を設ける。 ③生徒会活動の活性化を図る。	①各学年で設定した家庭学習目標時間を7割以上の生徒が達する。 ②静かに読書に取り組む。 ③授業中の挙手回数に応じて生徒が表彰される。
		具体的方策(教員の取組)	取組指標

## 平成27年度 学力向上実行プラン

